

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稲を主体に、大豆、小菊等を生産する中間農業地域。
- 高齢化、後継者不足により担い手の育成・確保が必要。また、整備済みの農地で集積が進むものの、散在する狭あいな農地の一層の集積が課題。

【支援内容・背景】

- 地域農業の中心となる経営体の経営面積の拡大、生産性の向上に対応して、作業の効率化、省力化の取組を支援する必要。
- 助成対象者は水稲を中心に、大豆、小菊等の生産に取り組む集落営農型の法人であり、地域の農地を引き受けて経営面積の拡大を図るほか、新規就農希望者の研修受入等に取り組む。このため、地域を担う集落営農型のリーディング経営体の取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「(農)ファーム小梨」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 昭和45年 育苗と田植の協同作業組織を設立
- 平成16年 法人化(農事組合法人)、農業経営改善計画認定
- 平成30年 法人名称の変更

《事業活用の背景》

○ 経営面積の拡大と生産性の向上を図るためには、作業の効率化、省力化が必要。水稲等の耕起、収穫作業等の効率化、省力化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

○付加価値額 24百万円

○経営面積 84ha
(水稲、大豆、小菊等)

《事業による整備内容》

- トラクター 1台
事業費 4,849千円
(国費 1,347千円)
- ロータリー 1台
事業費 752千円
(国費 209千円)
- ウイングハロー 1台
事業費 1,156千円
(国費 315千円)
- コンバイン 1台
事業費 7,946千円
(国費 2,207千円)

【現在の経営状況】
〈R4年度〉

○付加価値額 27百万 **(112%)**

○経営面積 84ha **(100%)**
(水稲、大豆、小菊等)



事業の
効果

《対象者》 水稲の作業の効率化、省力化が実現し、経営面積の拡大と収益の向上が実現。

《地区》 水稲等の生産体制の強化が図られることにより、地域農業を牽引する集落営農型の農業法人モデルが確立。